

Japanese Utility Model Registration No.: 2605547

Date of Registration: May 19, 2000

Application No.:

Japanese Utility Model Application No. 5-75906

Date of Filing: December 27, 1993

Laid-opened No.:

Japanese Utility Model Application Laid-opened
No. 7-40878

Laid-opened Date: July 21, 1995

Title of the Invention:

Long Starter Fitment for Wallboard

[Extract]

A long starter fitment for a wallboard, comprising a base plate 2, a step portion 3 and a wallboard supporting portion 4, wherein the base plate 2 and the wallboard supporting portion 4 are connected integrally via a step portion 3 leaning from an under furring strip 2A of the base plate 2 fixed to a wall base A toward a wall base A,

wherein a sectionally U-shaped bearer 5 for supporting the bottom edge of wallboard B is installed at an under furring strip 4A of the wallboard supporting portion, and

wherein the sectionally U-shaped bearers 5 are installed intermittently in the long direction of the long starter fitment for a wallboard.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第2605547号

(U 2 6 0 5 5 4 7)

(45) 発行日 平成12年 7 月24日 (2000. 7. 24)

(24) 登録日 平成12年 5 月19日 (2000. 5. 19)

(51) Int. Cl. ⁷

E04F 13/08

識別記号

101

F I

E04F 13/08

101

N

101

T

請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平5-75906

(22) 出願日 平成 5 年12月27日 (1993. 12. 27)

(65) 公開番号 実開平7-40878

(43) 公開日 平成 7 年 7 月21日 (1995. 7. 21)

審査請求日 平成 9 年 6 月16日 (1997. 6. 16)

(73) 実用新案権者 000001052

株式会社クボタ

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目 2 番47
号

(72) 考案者 魚田 祐樹

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目 2 番47
号 株式会社クボタ内

(74) 代理人 100068087

弁理士 森本 義弘

審査官 七字 ひろみ

(56) 参考文献 実開 平 1 -129305 (J P , U)

実開 昭62-151304 (J P , U)

(58) 調査した分野 (Int. Cl. ⁷, D B 名)

E04F 13/08 101

(54) 【考案の名称】 壁板用長尺スタート金物

1

(57) 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 壁下地材 A に固定される基板部 2 下縁 2 A から壁下地材 A に対し立ち上がる段状部 3 を介して壁板支持部 4 が一体に形成され、かつ該壁板支持部下縁 4 A に壁板 B の下端を受ける上方開放した断面コ字状の受け部 5 を有した壁板用長尺スタート金物 1 において、壁板支持部下縁 4 A に設けられる上方開放した断面コ字状の受け部 5 … 5 を長さ方向に断続させたことを特徴とする壁板用長尺スタート金物。

【考案の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【産業上の利用分野】 この考案は壁板用長尺スタート金物の改良に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】 従来、建築物の壁面を構築する場合、図

2

5 に示すように壁下地材 A に無機質壁板などの壁板 B を接続しつつ貼着け、広大な壁面とするいわゆる乾式工法が非常に広く採用されている。この乾式工法はセメント打設によるいわゆる湿式工法に対し、型枠工事や後の仕上げ工程が全く不要となり工期の短縮が図れるばかりでなく、外観の良い壁面が安価に構築できるといった種々の利点を有する。

【 0 0 0 3 】 ところで、上記乾式工法において壁板 B を壁下地材 A に取り付けるに際し、壁板 B の下端を一定状態に揃えて固定する手段として壁板用長尺スタート金物 G が使用される。この壁板用長尺スタート金物 G は図 5 に示したように壁下地材 A に固定される基板部 2 下縁 2 A から壁下地材 A に対し立ち上がる段状部 3 を介して壁板支持部 4 が一体に形成され、かつ該壁板支持部下縁 4 A に壁板 B の下端を受ける上方開放した断面コ字状の受

10

3

け部5を有した形状とされ、この断面コ字状の受け部5に壁板Bを収納して固定する。

【0004】

【従来技術の問題点】しかしながら、上記壁板用長尺スタート金物Gにおいて、断面コ字状の受け部5は長さ方向に連続した形状とされているため、壁下地材Aに不陸がある場合、図6に示すように壁板用長尺スタート金物Gの接続部分で大きな段差hが生じ壁板固定が安定に行えなくなる問題があり、また壁板Bに反りが生じていた場合、上記受け部5に壁板Bが収まらなくなり、施工が非常に面倒となる等の問題があった。

【0005】

【考案が解決しようとする課題】この考案は上記問題点に鑑み、壁下地材Aの不陸や壁板Bの反りが生じていても壁板Bを容易に固定できる壁板用長尺スタート金物を提供することを目的としてなされたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】即ち、この考案の壁板用長尺スタート金物は、壁下地材Aに固定される基板部2下縁2Aから壁下地材Aに対し立ち上がる段状部3を介して壁板支持部4が一体に形成され、かつ該壁板支持部下縁4Aに壁板Bの下端を受ける上方開放した断面コ字状の受け部5を有した壁板用長尺スタート金物1において、壁板支持部下縁4Aに設けられる上方開放した断面コ字状の受け部5…5を長さ方向に断続させたことを特徴とするものである。

【0007】

【実施例】次にこの考案の実施例を説明する。図1はこの考案の実施例の正面図、図2は図1の(x)-(x)線断面図、図3は図1の(y)-(y)線断面図を示す。

【0008】この考案の壁板用長尺スタート金物1は、壁下地材Aに固定される基板部2下縁2Aから壁下地材Aに対し立ち上がる段状部3を介して壁板支持部4が一体に形成され、かつ該壁板支持部下縁4Aに壁板Bの下端を受ける上方開放した断面コ字状の受け部5…5を有した壁板用長尺スタート金物1において、壁板支持部下

4

縁4Aに設けられる上方開放した断面コ字状の受け部5…5が、図1及び図2、図3に示すように長さ方向（矢印L）に断続させて構成されている。上記実施例において壁板用長尺スタート金物1そのものは、アルミ軽合金などによる一体成形あるいは薄金属板の折曲形成などにより成形される。

【0009】

【作用】この考案の壁板用長尺スタート金物1は、壁板Bを受ける断面コ字状の受け部5…5が長さ方向（矢印L）に断続させて状態となっているので、壁板Bに反りが生じていても壁板用長尺スタート金物1の中間部分で壁板Bを接続することが容易となり、また、壁下地材Aに不陸が生じていても金具1を図4に示すように均一に接続することが可能となる。

【0010】

【考案の効果】以上説明したように、この考案の壁板用長尺スタート金物1は受け部5…5を断続させた形状としたので、下地不陸や壁板の反りがあってもこれらを受取りつつ固定することが可能となり施工の能率の向上が図れる実用的効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】この考案の実施例の正面図である。

【図2】図1の(x)-(x)線断面図である。

【図3】図1の(y)-(y)線断面図である。

【図4】実施例の使用状態を示す断面図である。

【図5】従来例を示す要部破断斜視図である。

【図6】従来例を示す断面図である。

【符号の説明】

1…壁板用長尺スタート金物

2…基板部

2A…基板部下縁

3…段状部

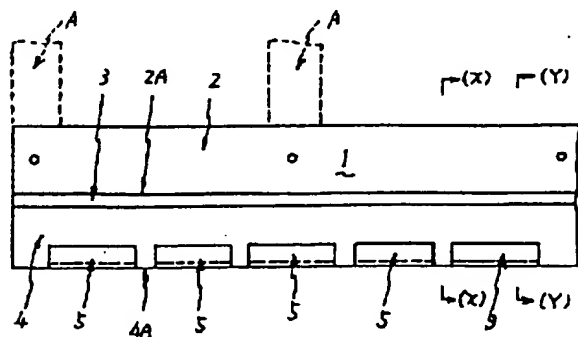
4…壁板支持部

5…断面コ字状の受け部

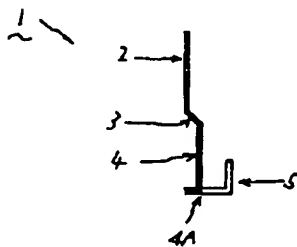
A…壁下地材

B…壁板

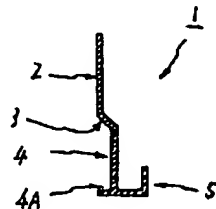
【図1】



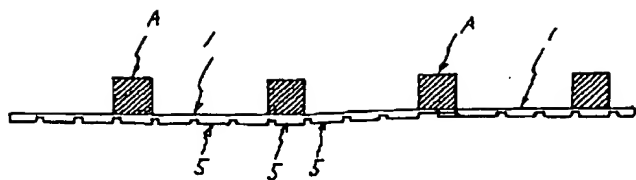
【図2】



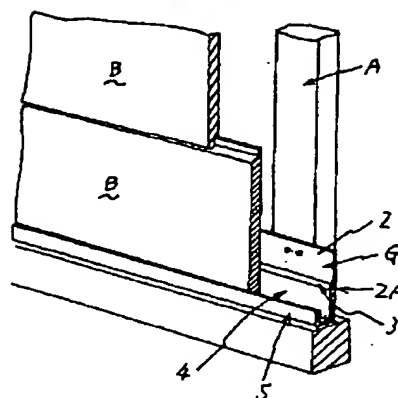
【図3】



【圖 4】



【圖 5】



【圖 6】

